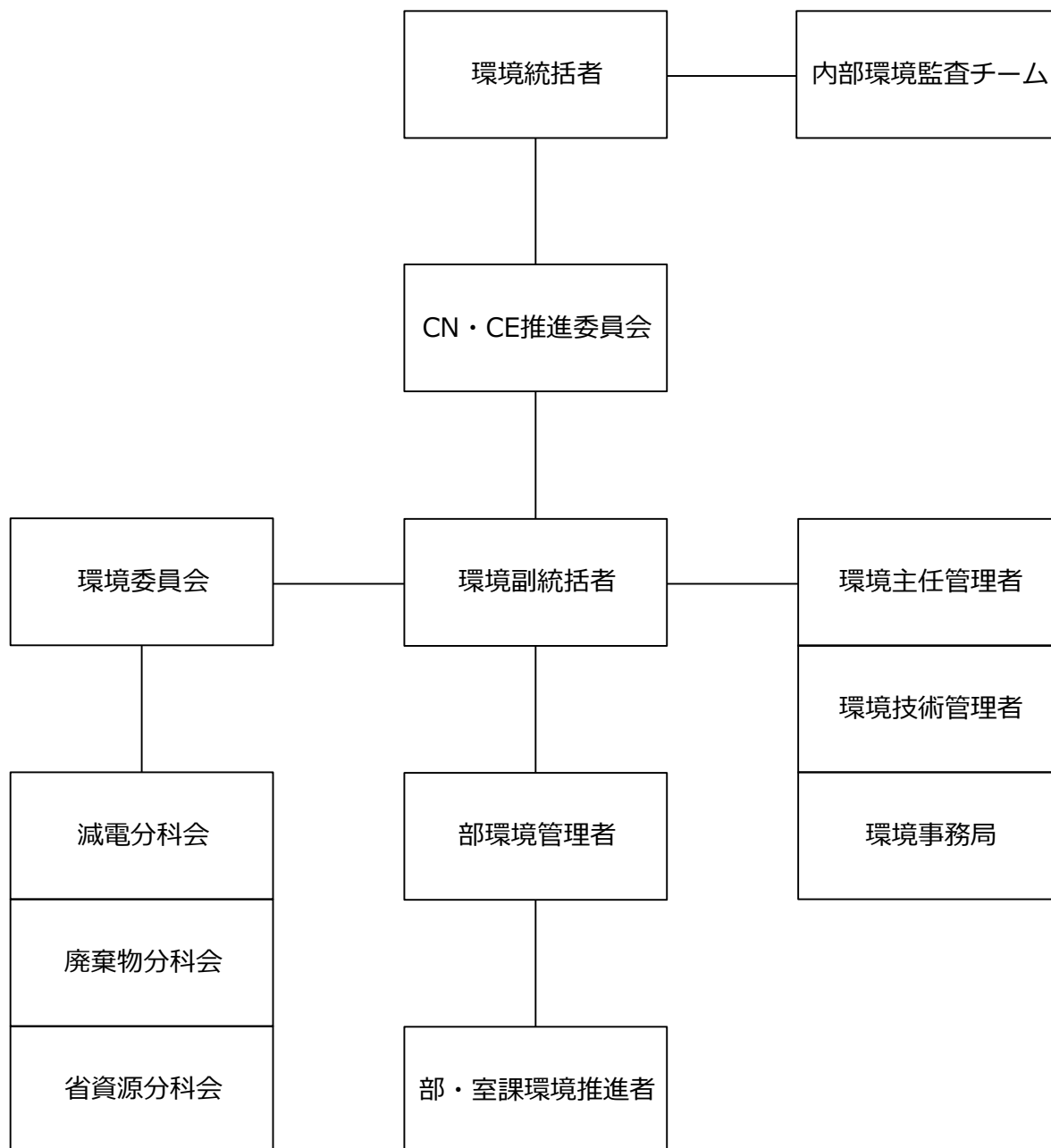


環境マネジメント体制

当社では、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。

以下に示すマネジメント体制を設け、環境パフォーマンスの向上に努めています。



環境マネジメント活動の取り組み

環境内部監査の実施により、運用状況を評価し、改善を図っています。

また、環境保全を理解して行動できるよう、教育を実施しています。

さらに、異常処置訓練や、環境負荷の高い設備の管理により、事故や漏洩の防止に努めています。

1.内部監査

環境マネジメントシステムの有効性を確認する内部監査を毎年実施しています。

監査では、法令などの遵守状況、環境目標の達成状況、業務プロセスの改善点などをチェックし、必要に応じて是正・予防措置を講じます。

これにより、環境パフォーマンスの向上を図っています。



2.社内教育

環境意識の向上と基本的な知識の習得を目指し、社内教育を実施しています。

新入社員教育と新任職制教育があり、前者では環境知識の基礎を、後者では一般知識とISO14001の基礎を学びます。

いずれもハイレベルな専門教育ではありませんが、無理なく環境への配慮を行えるよう支援しています。



3.異常処置訓練

環境事故や異常事態に備え、異常処置訓練を実施しています。

油の漏えいなど、想定されるリスクに基づいたシナリオを用いて訓練を行い、対応のスピードと精度を高めています。また、訓練後は振り返りを行い、手順や対応体制の見直しを行うことで、さらなるレベル向上を目指しています。



4.環境重要設備の管理

環境への影響が大きい設備は「環境重要設備」として特定し、重点的に管理を行っています。

これらの設備については、定期点検やメンテナンスを実施し、故障などによる環境リスクを未然に防いでいます。設備の安定稼働を通じて、地域社会や自然環境への配慮を継続しています。

